

平成28年度第1回函館市地域包括支援センター運営協議会 会議録

○ **開催日時** 平成28年7月20日(水) 18:30～20:25

○ **開催場所** 函館市総合保健センター 2階 健康教育室

○ **議 事**

1. 承認事項

(1) 介護予防支援業務の一部委託に係る指定居宅介護支援事業者について・・・資料1

2. 協議事項

(1) 平成27年度二次予防事業実績について・・・・・・・・資料2

(2) 平成27年度函館市地域包括支援センター活動実績について・・・・・・・・資料3-1,3-2

(3) 平成28年度函館市地域包括支援センター体制について・・・・・・・・資料4

(4) 平成28年度函館市地域包括支援センター活動計画について・・・・・・・・資料5-1,5-2

(5) 平成28年度函館市地域包括支援センター収支予算について・・・・・・・・資料6

(6) 地域密着型サービス事業者の指定等について・・・・・・・・資料7

3. その他

○ **出席委員** (8名)

岩井祐司会長, 後藤琢委員, 中村清秋委員, 佐々木大介委員, 高橋陽子委員,
柏原美之委員, 三國富美子委員, 山田富雄委員

○ **欠席委員** (2名)

齋藤征人副会長, 大宅泰子委員

○ **地域包括支援センター**

あさひ 有川管理責任者, こん中央 渡邊管理責任者, ときとう 長谷山管理責任者,
ゆのかわ 佐々木管理責任者, たかおか 松野管理責任者, 西堀 吉田社会福祉士,
亀田 常野管理責任者, 神山 林管理責任者, よろこび 黒田管理責任者,
社協 張磨管理責任者

○ **傍 聴** なし

○ **報道機関** なし

○ **事務局**

(高齢福祉課) 佐藤課長, 岩島主査, 塚本主査, 黒田主査, 加藤主査, 相澤主査,
二木主任, 小泉主任主事, 古口主任技師

(介護保険課) 深草課長, 杉澤主査 (指導監査課) 阿部課長, 山中主査

○ 会議要旨

1 開会

2 保健福祉部高齢福祉課長挨拶

3 委員および事務局職員の紹介

塚本主査

このたび委員の交代があったので紹介したい。函館市社会福祉協議会の三國富美子委員と函館市老人クラブ連合会の山田富雄委員である。

(三國委員，山田委員挨拶)

塚本主査

続いて異動のあった事務局職員を紹介したい。介護保険課長の深草，高齢福祉課主査の岩島である。

4 承認事項

(1) 介護予防支援業務の一部委託にかかる指定居宅介護支援事業者について

岩井会長

介護予防支援業務の一部委託にかかる指定居宅介護支援事業者について，事務局から説明願いたい。

深草課長

(資料1「介護予防支援業務の一部委託に係る指定居宅介護支援事業者について」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について，意見・質問等はないか。特にないようなので，承認してよろしいか。

委員

異議なし。

岩井会長

本件については，承認する。

5 協議事項

(1) 平成27年度二次予防事業実績について

岩井会長

平成27年度二次予防事業実績について，事務局から説明願いたい。

黒田主査

(資料2「平成27年度二次予防事業について」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について、意見・質問等はないか。私からの質問であるが、二次予防事業対象者の把握事業は今後どうなるのか。

黒田主査

今年度から、二次予防事業は実施しなくてもよいと国から示されている。これまでの二次予防事業対象者のような介護予防に取り組むべき方の把握事業については、新しい総合事業の中で実施していく。総合事業については、函館市も平成29年4月に開始する予定である。

岩井会長

他に意見・質問等はないか。特にないということで、次に進めたい。

(2) 平成27年度函館市地域包括支援センター活動実績について

岩井会長

平成27年度函館市地域包括支援センター活動実績について、事務局から説明願いたい。

二木主任

(資料3-1, 3-2「平成27年度函館市地域包括支援センター活動実績について」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について、意見・質問等はないか。

中村委員

資料3-1, 10ページ目に関する事。地域包括支援センター(以下「包括」という。)主催の研修会などは全事業所を対象に実施しているため、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の支援対象としては、全事業所と理解していた。資料では支援していない事業所の方が多いということだが、介護支援専門員への個別支援ということではよろしいか。

佐藤課長

そのとおり、個別支援のことである。事業所の介護支援専門員の人数や経験年数など事業所の事情は様々である。包括の支援が不要な事業所なのか、支援を求められないのか、その背景については、今後分析する必要があると考えている。

中村委員

印象としては、包括への相談は敷居が高いということはない。

資料3-1, 15ページ目に関する事。今後の課題として、地域密着型サービス事業所への運営推進会議の出席のあり方の整理とあるが、どういう意味か。

佐藤課長

市職員もしくは包括職員が出席することになっている。指導監査課の担当職員も少なく、現

在は包括が出席していることが多い。ただ、包括の業務量を考慮したいところであるため、市が主体となって考えていくべき課題と考えている。

柏原委員

包括業務における住民に対する広報・啓発に関して、高齢者の反応や手ごたえはどのような感じか。意識の高い高齢者へは情報が届きやすいが、知って欲しい、理解して欲しい高齢者へは情報が行き届かないのが現実ではないか。

佐藤課長

この点については、包括から回答願いたい。

包括ゆのかわ 佐々木氏

出前講座に来るのは意識が高い方々。来た方が周りの人に伝えたり、その方々が包括に連絡をくれることを期待している。また、高齢者見守りネットワーク事業で訪問する世帯へは包括の周知をしているところである。

岩井会長

資料3-2, 3ページ目に関すること。相談件数に占める、本人・家族・親族以外の割合が包括あさひ、包括こん、包括西堀が多かった。より多くの相談が来るように、地域包括支援ネットワーク構築のための活動をしていると思うが、具体的にはどのように活動しているのか。

包括こん中央 渡邊氏

こちらから地域に出向いていくことを心掛けている。町会行事の文化祭、お祭りに出向くよう意識している。餅つき大会や夏祭りの会場づくりは、若い人の手がいるということで、町会から声がかかる。そこに行くと地域の相談をされることもある。積極的に包括を知ってもらったことで、相談が多くなったと思う。

岩井会長

その他、包括西堀はいかがか。

包括神山 林氏

地域を知っているのは、地域で活動している方であることから、その方々とのネットワークを強めて、そこから地域の課題や地域で困っている方々の問題を吸い上げていくシステムを考えた。富岡町や中道では、民生委員、町会役員、老人クラブ、在宅福祉委員等々と、2か月から3か月に1回の定例の懇談会を定着させた。その結果、いろいろな相談が寄せられることにつながったと考える。

包括あさひ 有川氏

町会や民生委員とは顔の見える関係ができていますが、今後も継続して行事へ参加していく計画。休日の行事であっても、職員が交代で行けるよう工夫している。最近では社協とコラボして相談ブースを設けるなど、一緒に町会行事等を盛り上げていくようにしている。

岩井会長

町会や民生委員がキーワードになっているようだ。

資料3-1, 15ページ目の今後の課題で、高齢者虐待対応に関する医療機関とのネットワーク構築の強化とあるが、後藤委員は実際に高齢者虐待のケース等、何か経験があれば教えていただきたい。

後藤委員

在宅診療で訪問に出ているが、幸い高齢者虐待を疑うようなケースは経験した事はない。当院では、いろいろな方から話を聞くようにし、情報交換ができる関係づくりをしており、高齢者虐待についても発見に繋げていきたいと思っている。

岩井会長

健康づくり教室の自主化が難しいグループへの支援のあり方が課題とあるが、グループのリーダーが不足しているのか、逆に包括が手をかけ過ぎているのか。

佐藤課長

リーダーがいないこと、参加人数が少ないことが要因ではないか。リーダーがいないと、継続するにも難しいと考える。

二木主任

何回か健康づくり教室に参加したが、要因は両方であると感じる。平成27年度の地域診断において、包括の保健師・看護師部会ではグループの自主性を高めていく関わりが必要であると意思統一しているため、平成28年度はそのような方向で、各包括の活動計画に盛り込まれている。

岩井会長

他に何かあるか。

「平成27年度函館市地域包括支援センター活動実績について」は、ただいまの意見を参考にさせていただきたい。

(3) 平成28年度函館市地域包括支援センター体制について

岩井会長

平成28年度函館市地域包括支援センター体制について、事務局から説明願いたい。

岩島主査

(資料4「平成28年度函館市地域包括支援センター体制について」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について、意見・質問等はないか。包括が10か所に増えたが、体制としてはどこの包括も配置基準を満たしている。協議会としては特にないということで、次に進めたい。

(4) 平成28年度函館市地域包括支援センター活動計画について

岩井会長

平成28年度函館市地域包括支援センター活動計画について、事務局から説明願いたい。

古口主任技師

(資料5-1, 5-2「平成28年度函館市地域包括支援センター活動計画について」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について、意見・質問等はないか。

佐々木委員

包括神山に質問である。神山が関わっているサロンとは具体的にどのような内容で、どのような取り組みなのか。我々も通所介護を運営する上で、何かヒントになるのかと思う。

包括神山 林氏

サロンというのは、広い意味があると思う。本通のサロンは、気軽に立ち寄れる集い場を町民が「サロン」という言葉で地域ケア会議の中で表現している。内容であるが、大事なのは地域でどういう人たちを対象としているかということと、その地域らしさを出すこと。その地域によって、進んでいくスピードも違うと思うので、地域性を十分に尊重している。本通は、第1回目にサロンの参加者に日頃生活で困っていること、町会に望んでいることについて意見交換をした。今年度は2回くらい開催する予定。地域ケア会議の時に地域のデイサービスも参加してもらったが、地域貢献したいというデイサービスがいた。専門職で開催するサロンの計画もあり、包括は後方支援していく予定。本通のサロンと専門職のサロンも連携していければよいと考えている。

柏原委員

資料5-2を見ると、総合相談支援事業では、すでに重篤なケースがあることが問題になっている。一方で成年後見制度に対するニーズがあるはずだが、実際にはそれほどないと書かれている。低所得であるが、生活保護受給要件には当てはまらず、金銭管理が難しい身寄りのない方をどのような形で支援につなげているのか。

包括ゆのかわ 佐々木氏

成年後見制度の利用を目標に支援するが、難しいケースも多くある。そのようなケースでは高齢福祉課に相談しながら、包括や民生委員で、できる範囲の金銭管理等の支援をすることもある。高齢者専用住宅や施設の入所の際の保証人の問題もある。最近では、施設の考え方も変わって支援が広がってきたと思う。また、市民税非課税の方であれば、養護老人ホームの入所を検討するなど、さまざまな方法で困難事例への支援をしている。

塚本主査

確かに成年後見制度の利用まで至らない困難事例がある。市では成年後見センターを開設した。対象となるケースがあった場合には、成年後見センター、包括、生活支援課生活困窮の担当と連携しながら支援していきたいと考える。

中村委員

包括亀田と包括ときとうでは、社会資源の活用、将来的なネットワークの構築について分析していたが、具体的な計画はあるか。

包括ときとう 長谷山氏

包括ときとうの圏域は学校が多い。中でも専門学校、高校が多いので、5年後、10年後を考えると、今の学生が地域福祉に興味を持って、福祉職にならなくても地域福祉に何か還元してもらえることを期待している。我々としては学校と連携をして、若い世代の今後をキーポイントに考えている。

包括亀田 常野氏

包括亀田の圏域は介護保険事業所が多い。また、商業施設、スーパーやショッピングモールが多い。実際に自主的に認知症の高齢者の方をサポートするなどの取り組みをしている所もある。そのような活動を他へ広げる、見守り体制を強化する、という関わりを意識して活動していきたい。

岩井会長

他に、質問・意見等はあるか。

「平成28年度函館市地域包括支援センター活動計画について」は、ただいまの意見を参考にさせていただきたい。

(5) 平成28年度函館市地域包括支援センター収支予算について

岩井会長

平成28年度函館市地域包括支援センター収支予算について、事務局から説明願いたい。

塚本主査

(資料6「平成28年度函館市地域包括支援センター収支予算」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について、意見・質問等はないか。

中村委員

前回と違ってすごくわかりやすい様式になったと思う。

岩井委員

他に何かあるか。非常に分かりやすい様式になったということで、「平成28年度函館市地域

包括支援センター収支予算について」は、ただいまの意見を参考にさせていただきたい。

(6) 地域密着型サービス事業者の指定等について

岩井会長

地域密着型サービス事業者の指定等について、事務局から説明願いたい。

阿部課長

(資料7「地域密着型サービス事業者の指定等について」に基づき説明)

岩井会長

事務局の説明について、意見・質問等はないか。協議会としては、意見がないということである。

6 その他

岩井会長

その他に関して、事務局からあるか。

佐藤課長

今年度、函館市では地域ケア全体会議の開催を予定している。全市的な地域ケア会議のようなものである。後日、改めて案内するが、協議会の委員にも、できれば参加していただきたい。なお、3回開催の予定であり、全て参加をお願いしたいところであるが、都合が合わなければ致し方ない。講師の中澤氏の講話を聞くのは滅多にない機会であるので、参加についてよろしくをお願いしたい。

塚本主査

当協議会は例年、2回目11月、3回目を2月に開催している。昨年度は、事業評価の対象年度ではなく、今回活動実績で報告し協議していただいたことから、今年度は11月の開催を見送りたい。なお、介護予防支援業務の一部委託にかかる指定居宅介護事業者について、平成27年度の函館市地域包括支援センターの収支決算について、地域密着型サービス事業者の指定等については、準備でき次第、書面で報告等させていただきたい。次は来年の2月頃に協議会の開催を考えている。

岩井会長

その他、委員から何かあるか。では、進行を事務局へ戻したい。

7 閉会